並木中等story

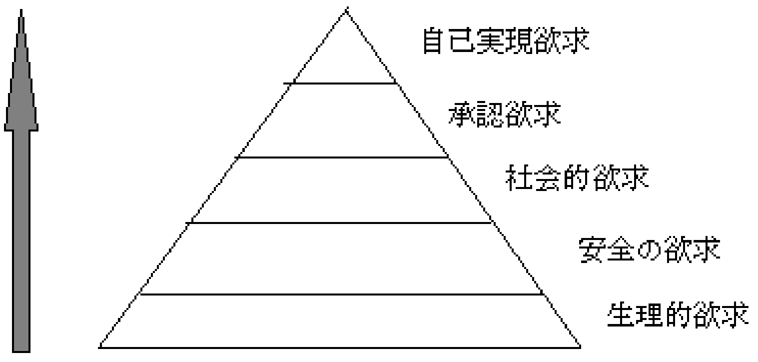
令和４年12月23日号①

いじめがあるクラスは成績が下がる

※これは12月23日の全校集会での校長講話内容の前半です。

今日は株式会社アビィリティートレーニング代表取締役社長で教育の専門家の木下晴弘先生から学んだ内容です。木下先生が教えていたクラスのことです。同じような成績の生徒が集まるクラスなのですが、進学実績が大きく違うことがあり、その原因を追及するとある事実が分かったのです。

先生の経験から大きく伸びたクラスが１割、通常が８割、成績が落ちたクラスが１割でした。成績が落ちたクラスの共通点が、クラスにいじめがあるということでした。いじめがあるとクラス全体の成績が落ちることは教育相談や心理学の先生方も気付いていることでした。なぜ、そうなるのか。人間の欲求には優先順位があります。



マズローの５段階

マズローが発表した５段階説です。人の欲求は最も優先されるのが睡眠や排泄の生理的欲求です。それが満たされると安全の欲求を求めます。いじめがあると安全に不安が生じます。学力を伸ばすという自己実現や承認の欲求より、人はいじめをどう乗り越えるかを考えるようになります。当然、学習は後回しになります。

いじめを発見したら、黙っているのではなく、それを無くす方向にクラス全員で動かないと、みんなの成績が下がることになるのです。勉強も団体戦なのです。

《祝　JA共済全国書道コンクール文部科学大臣賞！》

令和４年度JA共済全国小・中学校書道コンクールにおいて、本校１年八十島さんが文部科学大臣賞を受賞し、全国表彰を受けることになりました。

おめでとうございます。